

# 都市の火山復興計画に関する研究

担当科 都市防災科

**研究の目的** 2000年有珠山噴火災害により都市や建物は大きな被害を受けました。この研究では、建築被害の原因を分析し、地域や住宅の復興の課題を整理します。



熱泥流により被害を受けた建物



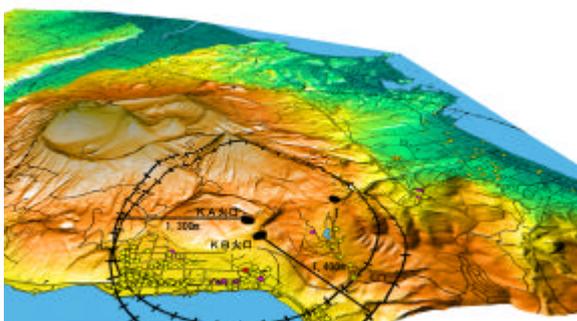
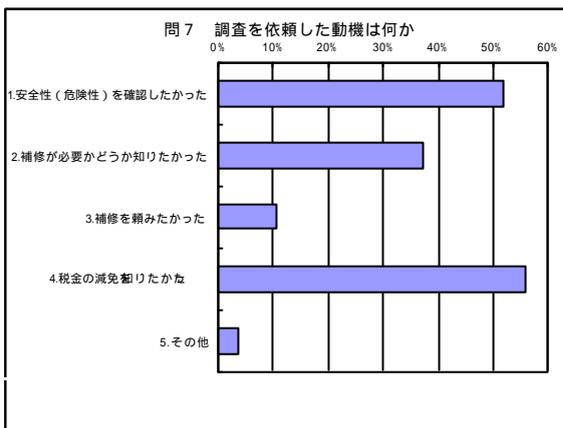
噴石により被害を受けた建物

**研究の結果** 建築被災度調査の結果をもとにGIS(地理情報システム)マップを作成しました。その結果、地殻の変動量と基礎被害の間に一定の関係があることや、噴石・降灰による建物被害の原因がわかりました。また、アンケート調査により、被害調査に対する住民の希望を把握することができ、住宅の復興における課題を整理しました。

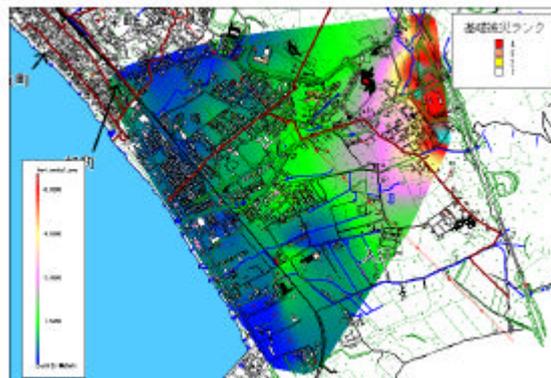
被害棟数

	木造				非木造	
	全 体	入 江	泉 町	温泉 町	本 町	木 造
全壊	83	17	29	32	5	4
半壊	246	45	51	110	40	13
一部損壊	298	58	74	110	53	39
被害なし	119	27	29	49	14	39

\*本町地区には高砂、栄町、旭町を含む。



噴石・降灰による被害(GISマップ)



地殻の変動量(GISマップ)

**活用方法・成果** 火山災害によりリスクマップ(被害予測図)の作成や、道内の活火山の防災対策に活用していきます。また、本研究成果を更に発展させた研究を今年度から実施予定です。